

## 平成 28 年度(2016 年度)研究業績

### 1. 研究発表等

No	発表者	発表課題名	発表学会等	年月
1	中野裕一郎ら	波トタン栽培槽における培地冷却方法の違いが夏秋期の四季成り性イチゴの生育, 収量に及ぼす影響	九州農業研究発表会 要旨集 78:151.	2016 年 9 月
2	中島正明ら	トウキ種子の水選処理での発芽率促進のための最適浸漬時間	九州農業研究発表会 要旨集 78:157.	2016 年 9 月
3	田代暢哉・尾形綾子・正司和之・松尾洋一・大塚利一郎	桂皮皮質由来成分シンナムアルデヒドの空気伝染性カンキツポストハーベスト病害に対するサンイテシオン効果	日本植物病理学会報 82:234.	2016 年 8 月

### 2. 刊行物 (ホームページでも公開)

No.	刊行物名	年月
1	平成 27 年度業務年報	2016 年 5 月

### 3. 著書・解説

No.	著者	題名	掲載誌	年月
1	松尾洋一	貯蔵みかん 上場地区での取り組み	佐賀の果樹 11 月号 Vol.807 pp1-4	2016 年 11 月
2	田代暢哉	超ビギナーのための防除研究デザインと統計解析	EBC 研究会ワークショップ 2016 講演要旨集 pp. 1-42	2016 年 9 月
3	Masahiro Natsume, Nobuya Tashiro, Akio Doi, Yatsuka Nishi, Hiroshi Kawaide	Effects of concanamycins produced by <i>Streptomyces scabies</i> on lesion type of common scab of potato	Journal of General Plant Pathology 83:78-82.	2017 年 3 月

### 4. 公表した研究成果情報

No.	情報名	担当
1	四季成り性イチゴ‘すずあかね’の夏秋期栽培はハンモック式栽培槽の培地冷却で増収する	畑作・野菜
2	ハウスマカンの果実肥大期に発生する結果枝枯死症状の原因と多発要因	畜産・果樹